

安全・快適・身近な下水道

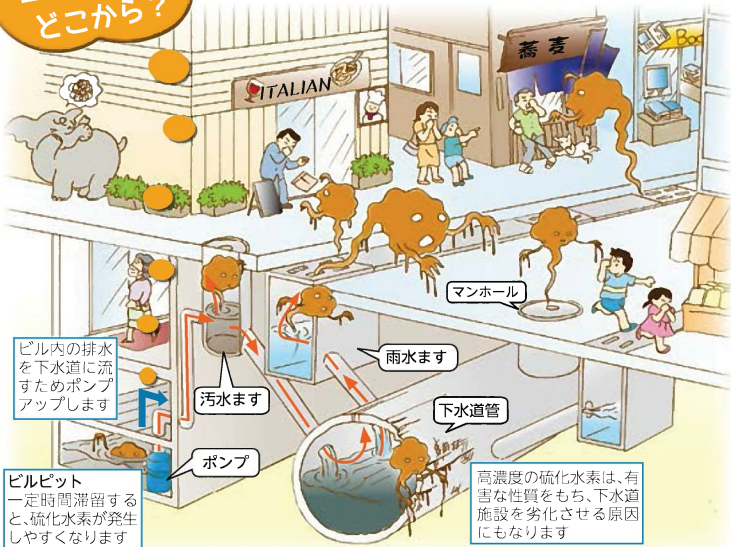
夏です まちなかのニオイやゲリラ豪雨、気になりませんか？

下水道管には、トイレやキッチン・洗面所からの排水、工場・病院からの排水など、さまざまなものが流れています。住宅街で自然に流れている限り、下水からの臭いはほとんど発生しませんが、駅周辺のまちなかでは「卵の腐ったような臭い」が発生することがあります。市内でもこのような臭いがたびたび確認され課題となっており、特に吉祥寺駅周辺においては、吉祥寺活性化協議会や地域の商店会とも連携し臭気抑制に向けて対策を進めています。

主な原因は、硫化水素です

地下にあるビルピット（污水雑排水槽）から下水道管へポンプアップして排水される際に一時的に発生し、マンホールや道路上の雨水ますなどを通じて地上に拡散します。

まちなかのニオイはどこから？



臭気の発生を抑制させるには、皆さんの協力が必要です

ビル所有者の方へ

ビルピットの改修に必要な経費の3分の2（上限75万円）を助成する制度があります。詳しくは下水道課へお問い合わせください。改修を行った方からは「臭いが無くなっただけでなく、ビルピットの槽内の清掃もしやすくなった。」との声も聞きます。

市民の皆さんへ

硫化水素の発生は一時的なため、発生源の特定が非常に困難です。駅周辺などで臭いを感じたら、どこで臭いが発生しているか、場所や時間帯などを下水道課へ連絡してください。

連絡のあった場所の調査を行い、一定以上の硫化水素が確認された場合、対象のビル所有者の方へ改善を求めます。

皆さんの快適な暮らしのためはもちろん、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、全国や海外から訪れる方々に、気持ちよく楽しんでいただくため、目に見えない臭いを意識して、一緒に取り組んでいきましょう。



自然の恵みとなることもあれば、水害となることもある雨。ためる・しみ込ませる対策によって、ゲリラ豪雨の時に市内で発生している浸水被害を軽減できます。被害軽減のために、市内全域での取り組みを進めていきましょう。

自宅でできる雨水利用・浸水対策

雨をためて使う（雨水タンク）

雨水をためれば、日常的な花の水やりや災害時の雑用水として使うこともできます。



雨をしみ込ませる（雨水浸透ます）

現在、市内の41%の住宅に雨水浸透ますを設置していますが、市内全域に雨水浸透施設を設置することで、市全体の浸水被害を軽減できます。

ご家庭で雨水浸透ますをつけると、屋根に降った雨を1時間で1.2トン（1200ℓ）、お風呂（180ℓ）6～7杯分浸透させることができます（土地面積100m²、建ぺい率40%の場合）。

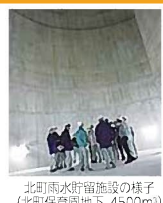
また、庭に草木を植えると、コンクリートや土のままよりも多くの雨水が浸透します。雨水を土に浸透させると地下水が豊かになります。

雨水タンク・雨水浸透ますの設置には助成制度があります。詳しくは下水道課までお問い合わせください。市ホームページでも紹介しています。



下水道総合計画（2018）を策定しました

近年のゲリラ豪雨による都市型浸水や地震に対するリスク、水環境の保全・創出や下水道施設の老朽化への対応などのさまざまなニーズに応えるため、下水道総合計画（2014）を改定したもので、「次世代へつなぐ、暮らしを支える下水道」を基本理念に今後20年間の下水道に関する計画を示しています。上記の臭気対策や雨水浸透施設の助成金についてはもちろん、「水の学校」などの特徴的な事業や、下水道施設（合流式下水道改善施設、雨水貯留施設など）についても記載しています。市ホームページに公開しているほか、下水道課でも冊子を配布しています。



特集

この特集に関するお問い合わせは、下水道課☎60-1867まで